

# 「おくせぜず戦い、友好を」

## 県・済源市友好 バスケットボール 選手団が教育長表敬

【県・済源市(中国・河南省)友好バスケットボール交流試合】に参加する県選手団が15日、県庁を訪れ、県教育委員会の矢和多忠一教育長を表敬した。

高校生や関係者の友好および競技の発展を目指した相互交流を趣旨として、初めて行われる事業。高校生県日本中国友好協会(九猪功会長)が同市の済源第一中学校の要請を受けたことがきっかけとなり、県各関係機関の協力を得て実現した。

県選手団は選手団長の九猪会長、総務の岡嶋隆文・県協会理事長(生駒高)と堀内秀規・県高体連専門部専門委員長(桜井高)ほか藤尾兼三監督(一条高)ら指導者、県内高校から選抜された中川拓也主将(奈良工高)ら選手、計19人。はじめに九猪会長が交流試合の要請を受けた経緯を説明し、「選ばれた選手諸君は国際的な見識を高め、日中の相互理解を深めていただきたい」とあいさつ。県選手団の副団長を務める岡嶋理事長がスタッフを紹介し、選手たちが一人一人自己紹介をした。

続いて矢和多教育長が、

「済源第一中学は規模が大きく、観客も何千人も集まると聞いている。そんな場所へ受けた歓声や声援は、今後の人生でもよみがえるときがくるはず」と話し、「おくせぜず試合をし、友好の輪を広げていただきたい」と選手たちを激励。これを受け、中川主将がフーラーだけでなく、生活やマ

ナーの面でも、県代表として恥ずかしくないように行動したい」とお礼の言葉を述べた。

県選手団は22日、関西国際空港から中国へ出発。交流試合や合同練習のほか、済源市の政府施設見学や市長表敬、プロバスケットボール試合見学などを経て26日に帰国する予定。



矢和多教育長の激励を受ける県選手団(県庁)